

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【公表番号】特表2009-513568(P2009-513568A)

【公表日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-013

【出願番号】特願2008-532507(P2008-532507)

【国際特許分類】

A 6 1 K 51/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

G 0 1 T 1/161 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 49/02 A

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 29/00

G 0 1 T 1/161 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月2日(2009.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

診断用または処置用の組成物であって、該組成物は、

I 型コラーゲンおよび／または I I I 型コラーゲンに結合する物質と；

該結合する物質に結合した放射性核種と

を含み、該物質と放射性核種とは一緒に結合されることによって、それらは一緒に、体腔における炎症領域における曝露された I 型コラーゲンおよび／または I I I 型コラーゲンに結合することができることを特徴とする、組成物。

【請求項 2】

前記コラーゲンに結合する物質が、抗体またはその結合フラグメントを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記抗体が、ポリクローナル抗体である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記抗体が、モノクローナル抗体である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記モノクローナル抗体が、表 I I I または表 I V に列挙されたモノクローナル抗体からなる群より選択される、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記放射性核種が、0.5 キュリー／グラムと 10,000 キュリー／グラムの間の比放射能を有する、ガリウム 67、テクネチウム-99m、ヨウ素 123、スズ 117m、ホルミウム-166 およびタリウム 201 からなる群より選択される、転換電子放射源 (CES) である、請求項 1～5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

前記放射性核種は、病変における濃度が 0.1 μ Ci から 10 mCi の範囲であるような治療投薬量および形態である、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記コラーゲンに結合する物質および前記放射線核種が直接結合している、請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

前記コラーゲンに結合する物質および前記放射性核種が、表 V の薬剤、および他のものからなる群より選択される結合剤により結合される、請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載される組成物。